

状況と対策

青谷漁港海岸において、波浪による汀線後退がみられ経過を観察していたところ侵食が進行し続け、海岸保全施設の青谷防砂堤の基礎が露出した。背後には国道9号があり、更なる浸食が懸念される中、海岸浸食の進行を防ぎ防砂堤への被害を食い止めるため、大型の袋（ポリエステル繊維）に砂を詰めたものを設置する計画とした。今後は、青谷海岸への養浜についても検討の必要があると考えている。（※現在は再び砂浜を形成している。）

**位置図**

夏泊漁港  
青谷海岸  
汀線後退 (侵食)

**平面図**

袋詰め工 (拘束タイプ内布入り)  
H8災害復旧事業実施 (階段式)  
L=60m  
国道9号

**横断面**

国道9号  
青谷防砂堤  
基礎  
袋詰め工 (拘束タイプ内布入り) 6tタイプ  
砂減少  
海底  
袋詰め工 (拘束タイプ内布入り) 2tタイプ  
侵食・露出

**以前**  
H30.7.30  
国道9号

**侵食後**  
R4.6.30  
国道9号  
防砂堤の基礎が露出

**現在**  
R4.11.15

国道9号  
防砂堤  
袋詰め工